

八戸港コンテナ定期航路就航状況(2019年7月現在)

□ 外航 □ 国際フィーダー

コンテナ航路	船社名(日本総代理店)	集荷代理店	寄港間隔	寄港地
中国・韓国航路 (共同配船)	南星海運(株) (南星海運ジャパン(株))	八戸港湾運送(株)	週2便 (火・金)	(NTP E/W航路) *南星海運(株)のみ 釜山(月・火)→清水→小名浜→仙台→釜石→八戸(火)→苫小牧→酒田→釜山(日・火)→蔚山(火)→光陽(水)→上海(金・土)→寧波(日)→釜山(月・火)
	高麗海運(株) (高麗海運ジャパン(株))	ナラサキスタックス(株) 八戸支店	*高麗海運 サービスは (金)のみ	(NCH E/W航路) *南星海運(株) *高麗海運(株) 釜山(火・木)→石狩→函館→苫小牧→釧路→室蘭→八戸(金)→釜山新港(日・月)→釜山(月・火)→蔚山(水)→光陽(木)→連雲港(土)→青島(日・月)→釜山(火・木)
韓国航路 (協調サービス)	長錦商船(株) (株)シノコー(株) 興亜海運(株) (三栄海運(株))	八戸通運(株) 北日本ポート サービス(株)	週2便(火・金)	(THS2航路) *長錦商船(株) *興亜海運(株) 釜山(日)→直江津→秋田→苫小牧→八戸(金)→釜山/釜山新港(月・金)→仙台→八戸(火)→苫小牧→釜山新港/釜山(土)
北米航路	Westwood Shipping Lines (セノマリタイムエージェンシー(株))	八戸港湾運送(株)	休止中	シアトル・バンクーバー・釜山ほか
国際フィーダー 航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運(株)	週1便(金)	横浜・仙台・宮古・苫小牧
	井本商運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(木or金or土)	横浜・東京・苫小牧・仙台
	鈴与海運(株)	八戸港湾運送(株)	週2便(木or金or土)	横浜・苫小牧

主な寄港地と八戸港の所要日数(最短)(2019年7月現在)

寄港地	輸出	輸入	寄港地	輸出	輸入
釜山(韓国)	3	5	タンジュン/プリアク(インドネシア)	16	22
光陽(韓国)	6	※	ムンバイ(インド)	25	25
蔚山(韓国)	5	※	ポートクラン(マレーシア)	18	15
基隆(台湾)	15	9	ドバイ(UAE)	28	22
台中(台湾)	16	9	タコマ(米国西岸)	21	21
高雄(台湾)	13	7	ロングビーチ(米国西岸)	16	18
香港(中国)	9	13	シアトル(米国西岸)	21	21
大連(中国)	12	12	ニューヨーク(米国東岸)	29	38
青島(中国)	9	12	バンクーバー(カナダ)	23	19
上海(中国)	10	10	ブリスベン(オーストラリア)	31	21
天津新港(中国)	12	12	オークランド(ニュージーランド)	40	28
寧波(中国)	12	9	サウサンプトン(イギリス)	29	35
蛇口(中国)	14	13	ルアーブル(フランス)	30	35
シンガポール	17	20	ブレーメル/ハーフェン(ドイツ)	32	35
レムチャパン(タイ)	14	19	ハンブルク(ドイツ)	43	44
マニラ(フィリピン)	16	21	ロッテルダム(オランダ)	41	42
ホーチミン(ベトナム)	13	16	アントワープ(ベルギー)	41	49
ハイフォン(ベトナム)	16	17			

*光陽・蔚山(韓国)については、釜山にまどめた後に輸入されています。

みなと通信



八戸シーガルブリッジは平成9年に完成した、ポートアイランドと陸地を結ぶ唯一のアクセス橋です。

この橋はレベル1地震動にのみ耐震性能を確保するように設計されていますが、発生確率は低いが大きな力を持つレベル2地震で落橋等の甚大な被害が無いようにするため、平成29年度から改修事業で耐震補強に着手しています。

橋台2基と橋脚4基のうち、今年度は橋脚3基の補強工事を行う予定です。工事中ご不便をかけることもあるかと思いますが、関係者の皆様のご理解ご協力をお願いします。



八戸シーガルブリッジ

青森県三八地域県民局地域整備部八戸港管理所 TEL:0178-21-2280 FAX:0178-21-2370

八戸港ご利用のお問い合わせは次の各社へ!

- 海貨業者**
- ◆八戸通運株式会社 海運部
(株)シノコー(株) 集荷代理店
TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281
 - ◆八戸港湾運送株式会社 コンテナ事業部
(南星海運ジャパン(株)、WSL、井本商運(株)、鈴与海運(株)、オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド(OOCL)日本支社、インターエイシアライン(株) 集荷代理店)
TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3130
 - ◆新丸港運株式会社 営業部
TEL:0178-20-2325 FAX:0178-20-2356
 - ◆八戸運輸倉庫株式会社 営業部
TEL:0178-28-2401 FAX:0178-28-6976
 - ◆三八五流通株式会社 八戸区域事業所
TEL:0178-52-7755 FAX:0178-52-7751
 - ◆日本通運株式会社 八戸支店
TEL:0178-20-3040 FAX:0178-20-3154
 - ◆ナラサキスタックス株式会社 八戸支店
(高麗海運ジャパン(株) 集荷代理店)
TEL:0178-21-6000 FAX:0178-21-6050
 - ◆北日本ポートサービス株式会社
(SITC JAPAN(株)、三栄海運(株) 集荷代理店)
TEL:0178-20-2148 FAX:0178-29-3130
- 海運会社(国内総代理店)**
- ◆南星海運ジャパン株式会社 【東京都】 中国・韓国航路 TEL:03-5843-6100 FAX:03-5843-6110
 - ◆高麗海運ジャパン株式会社 【東京都】 中国・韓国航路 TEL:03-3500-5051 FAX:03-3500-5095
 - ◆株式会社シノコー(株) 【東京都】 韓国航路 TEL:03-6278-6032 FAX:03-6278-6038
 - ◆三栄海運株式会社 【東京都】 韓国航路 TEL:03-3273-4981 FAX:03-3281-8605
 - ◆センワマリタイムエージェンシー株式会社 北米部 【東京都】 WSL:北米航路 TEL:03-5733-7203 FAX:03-5733-7208
 - ◆株式会社横浜コンテナライン 【横浜市】 国際フィーダー航路(横浜) TEL:045-227-8863 FAX:045-681-8885
 - ◆井本商運株式会社 【神戸市】 国際フィーダー航路(東京・横浜) TEL:078-322-1600 FAX:078-322-1625 【東京営業所】 TEL:03-3593-3911 FAX:03-3593-3918
 - ◆鈴与海運株式会社 【静岡市】 国際フィーダー航路(東京・横浜) TEL:054-354-3100 FAX:054-354-3102 【東京営業所】 TEL:03-3432-7159 FAX:03-3432-0896
 - ◆オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド(OOCL)日本支社【東京都】インド・東南アジア航路(横浜港トランシップ) TEL:03-3493-6001 FAX:03-3493-6405
 - ◆インターエイシアライン株式会社 【東京都】 東南アジア航路(横浜港トランシップ) TEL:03-3580-6555 FAX:03-3580-6575
 - ◆SITC JAPAN株式会社 【東京都】 中国・アジア航路(横浜港トランシップ) TEL:03-6262-7778 FAX:03-6262-7117
 - ◆ジャパン・パン・ラインズ株式会社 【東京都】 小口混載貨物サービス(輸出) TEL:03-6779-9610 FAX:03-6779-9650

八戸港国際物流拠点化推進協議会
Hachinohe Port Promotion Commission

事務局/ 八戸市商工労働観光部商工課 貿易振興グループ
〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市庁別館5階 TEL.0178-43-2111(代表) TEL.0178-43-9244(直通) FAX.0178-43-2256
(E-mail) hppc@hi-net.ne.jp (ホームページ) www.hi-net.ne.jp/~hppc/

2019年7月発行 第47号

■ 発行者 八戸港国際物流拠点化推進協議会

■ 企画編集 (株)テクノス

もっとすごい!

PORT OF HACHINOHE

2019年7月発行 NO. 47

ハチヨウ

ハチヨウ



提供元:八戸港振興協会

- TOPIX**
- P2・P3 八戸港の補助事業のご案内
 - P4 ・米国ニューヨークで地場産品フェアを開催
 - ・シンガポールの最先端
 - ・ジュエル・チャンギ・エアポートが4月ついにオープン
 - ・興亜海運がコンテナ集荷サービスを開始
 - P5 ・2018年八戸港コンテナ貨物取扱量統計(速報値)
 - P6・7 八戸港開港80周年
 - 1.八戸港誕生
 - 2.新産都市指定と急速な発展
 - 3.東北初の外航コンテナ定期航路開設
 - 4.現在と未来
 - P8 ・航路情報、各お問い合わせ先



昨年度からの
主な変更ポイント

- ①申請期間が7月29日～11月29日になり、予算の上限に達した時点で受付を終了します。
- ②コンテナ増に対する補助事業とリーファーや陸送費に対する補助事業が併用可能になりました。
- ③陸送費補助事業を新設しました。
- ④航路開設補助事業の上限額を大幅にアップしました。

1 コンテナ増加補助事業

増加50TEUまで

補助対象 八戸港のコンテナ貨物取扱量を前年同期比で1～50TEU増加させる荷主
ただし、前年に八戸港を利用したことがある荷主は取扱量が11TEU以上であること

補助金額 平成31年1月1日から令和元年12月31日までの補助対象期間における
①(新規利用荷主)取扱量を対象として
②(前年利用荷主)前年取扱量と10TEUの大きい値と比較した増加量を対象として

1TEU当たり5,000円
(京浜港経由は1,000円加算) **上限30万円**



1コンテナ増加補助事業計算例
1八戸港利用実績が前年30TEU、今年50TEUの場合
(50TEU-30TEU)×5,000円=10万円

2 大口増加補助事業

増加51TEU以上

補助対象 八戸港のコンテナ貨物取扱量を前年同期比で51TEU以上増加させる荷主

補助金額 平成31年1月1日から令和元年12月31日までの補助対象期間における増加量を対象として

1TEU当たり10,000円
(京浜港経由は2,500円加算) **上限250万円**

申請受付期間が
変わったんじゃない
早いもの勝ち
じゃぞ!



3 リーファー増加補助事業

補助対象 八戸港でのリーファーコンテナ貨物取扱量を前年同期比で1TEU以上増加させる荷主

補助金額 平成31年1月1日から令和元年12月31日までの補助対象期間における増加量を対象として

1TEU当たり2,500円・上限25万円

3リーファー増加補助事業計算例
八戸港リーファー取扱量実績が前年10TEU、今年12TEUの場合
(12TEU-10TEU)×2,500円=5,000円

4 陸送費補助事業

補助対象 貨物出荷元又は納品先と八戸港コンテナターミナルが直線距離で50km以上離れており、

- ①前年に八戸港を利用していない荷主
- ②前年に八戸港を利用した場合は東南アジア諸国連合、台湾又は香港向けに
県産農水産物(加品含む)を輸出する荷主 のいずれか

補助金額 平成31年1月1日から令和元年12月31日までの補助対象期間におけるトラック、トレーラー等の輸送料及び付帯する電源シャーシ利用料等(バンニング、倉庫保管料は除く)を対象として

対象経費の1/3
ただし、1TEU当たり15,000円まで**上限40万円**

計算例
10TEUの輸出に要した陸送経費が50万円の場合、
50万円×1/3=16万6千円
だが、上限が15,000円/TEUのため
10TEU×15,000円=15万円



5 八戸港くん蒸上屋利用事業費補助金

補助対象 八戸港くん蒸上屋を使用する荷主

補助金額 平成31年1月1日から令和元年12月31日までの補助対象期間における1室1回当たり

50,000円・上限なし

複数のメニューを
一緒に使えるんだワン!



計算例
くん蒸上屋を3回利用した場合
5万円×3回=15万円

6 八戸港小口混載貨物輸送事業費補助金

補助対象 小口混載貨物サービスを利用して輸出入を行った荷主

補助金額 平成31年1月1日から令和元年12月31日までの補助対象期間における貨物R/T(1t又は1m3のいずれか大きい方)当たり

3,000円・上限なし

計算例
3t 5.5m3の貨物を3回輸出した場合
5.5(R/T)×3,000円×3回=49,000円
※1,000円未満切り捨て

7 八戸港小口混載貨物サービス事業支援助成金

補助対象 八戸港のコンテナ定期航路の小口混載貨物サービスを提供する事業者

補助金額 平成31年4月1日から令和元年12月31日までの小口混載貨物を対象として

1コンテナ当たり50,000円・上限なし



8 八戸港コンテナ定期航路開設促進事業費補助金

補助対象 ①東南アジア諸国連合、香港又は台湾を起点、寄港地又は終点とする
東南アジア航路を新規開設する船会社
②東京港、横浜港又は川崎港を起点又は終点とし、①の寄港地の航行日数が短縮される
国際フィーダー航路を新規開設する船会社 のいずれか

補助金額 航路開設日から令和2年2月29日までの燃料費を対象として

- ①東南アジア航路 **対象経費の1/2 上限1,200万円**
- ②国際フィーダー航路 **対象経費の1/2 上限600万円**

上限額を
大幅に引き上げ
たのじゃ



〈お問合せ先〉

〒031-8686 八戸市内丸1-1-1 TEL.0178-43-9244

MAIL:shoko@city.hachinohe.aomori.jp

八戸港国際物流拠点化推進協議会事務局(青森県八戸市商工労働観光部商工課内)
申請方法等詳細は、ホームページ www.hi-net.ne.jp/~hppc/ をご覧ください。



※TEUとは、コンテナ船の積載能力を示す単位で、1TEUは20フィートコンテナ1個分を示します。コンテナを単純合計数で表示する代わりに、20フィートコンテナ1個を1、40フィートコンテナ1個を2として、コンテナ貨物量をこの数値の合計で表示する計算方法です。

米国ニューヨークで地場産品フェアを開催

文／八戸市商工課 和島 将彦

市では、八戸圏域の町村(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)と連携しながら、アメリカ向け地場産品の販路拡大に取り組んでいます。昨年度は、市として初めてニューヨークをターゲットに新規販路開拓に取り組むこととし、バイヤー招聘商談会や各種セミナーの開催、現地活動を実施しました。

現地活動では、2019年2月20日～24日の期間、ニューヨークにおいて、3日間の物産展のほか、現地バイヤーへの営業訪問や市場視察を行いました。そのうち物産展では、ブルックリン地区で新規開店した日系スーパーにおいて、地元メーカー8社の32商品を出品し、現地青森県人会の皆さんの協力をいただきながら試食販売を行いました。同店がジャパンビレッジというニューヨークでも注目の商業施設に入居していること、また、同店で初となる日本物産展だったことが影響し、連日多くの人々が来場しました。来場者は、日本人の割合が少なく、外国人がほとんどでしたが、試飲試食によるPRが功を奏し、商品の安全性・機能性・品質の良さに高い評価をいただき、売れ行きも良く、実施した店舗からも想像以上の大盛況との声をいただきました。

今回の現地活動では、地場産品の販路拡大に多くの可能性を感じたところであり、今後も様々な方法を検討しながら引き続き取り組んで参りたいと思います。



シンガポールの最先端 ジュエル・チャンギ・エアポートが4月ついにオープン

文／八戸市海外経済協力員(シンガポール市) 柴田 真理

複合施設 ジュエル・チャンギ・エアポートは総面積13万5700平方メートル10フロア(地下5階、地上5階)の中に象徴的な建築、草木が生い茂る室内ガーデン。ユニークなショップやレストランが入り、巨大な施設が完成しました。

何といても注目目は、世界最高40メートルの高さから滝が流れる圧巻のHSBC Rain Vortex。日中は透明な天井から注がれる太陽光によって美しく輝き、日が沈むと水のスクリーンとなって様々な映像が投影され幻想的な表情を見せる。その周りでは9百本の木々と6万本の灌木の中で自然探索をしながらショッピングや食事ができる。ショッピングモールは国内外の選りすぐりのお店とレストランが281店舗出店し、映画館やスーパーマーケットもある。

日本の店舗は無印良品、東急ハンズ、そして日本国外で初の海外店舗をオープンさせたポケットモンスターのオフィシャルショップPokemon Center singapore。

ジュエルは、渡航の際のみならず休日を通す新しいスポットとしても注目されている。



興亜海運がコンテナ集荷サービスを開始

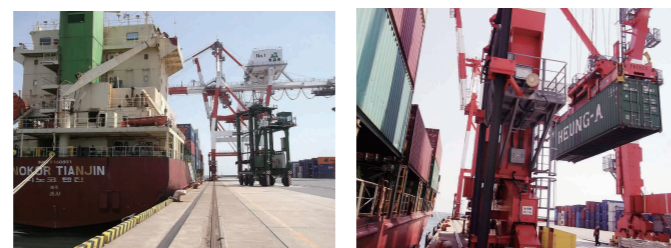
文／八戸港国際物流拠点化推進協議会 事務局 書記 泉山 健一

韓国船社大手の興亜海運(株)が2019年5月17日から新たに八戸港での集荷サービスを開始しました。

同社と長錦商船(株)との協調サービスとして、これまでの韓国航路に参入する形で開始されており、八戸港で7割以上を占めているアジア域内とのコンテナ輸出入において、更なる利便性の向上が期待されます。

<ブッキング>
三栄海運(株) TEL 03-3273-4981

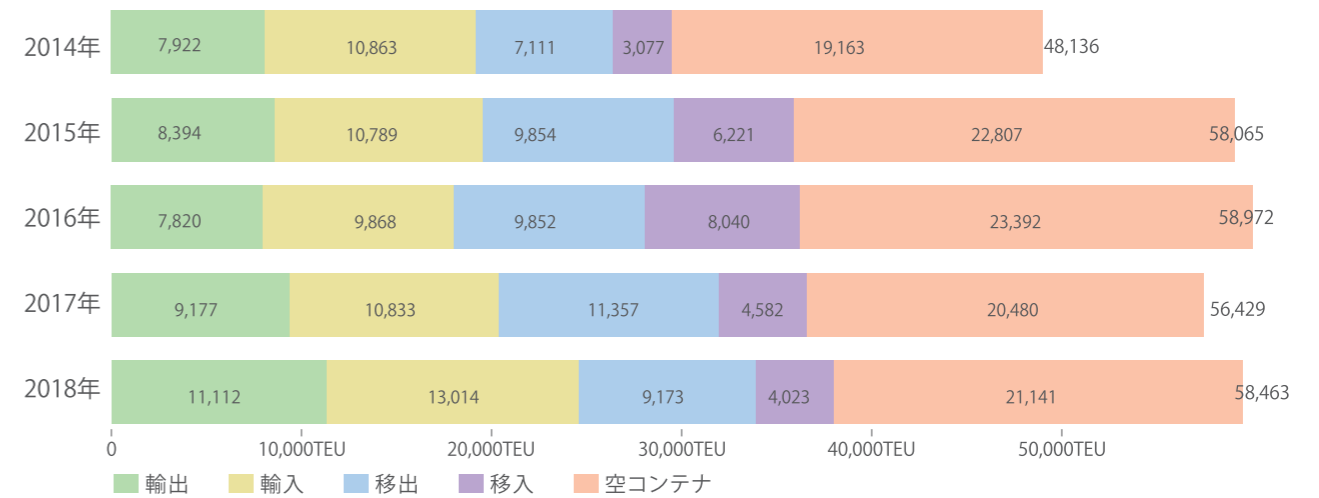
<集荷代理店>
北日本ポートサービス(株) TEL 0178-29-3111



※八戸港国際物流拠点化推進協議会による独自集計

2018年八戸港コンテナ貨物取扱量統計(速報値) (単位:TEU)

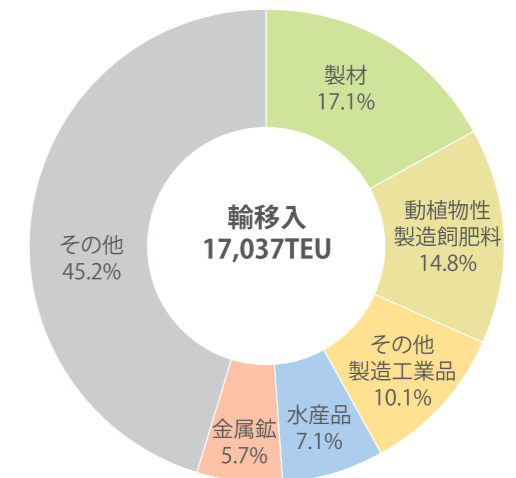
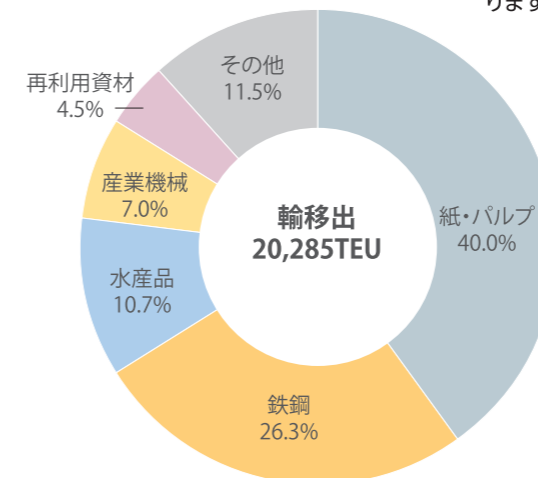
取扱量の推移



※TEUとは、コンテナ船の積載能力を示す単位で、1TEUは20フィートコンテナ1個分を示します。コンテナを単純合計数で表示する代わりに、20フィートコンテナ1個を1、40フィートコンテナ1個を2として、コンテナ貨物量をこの数値の合計で表示する計算方法です。

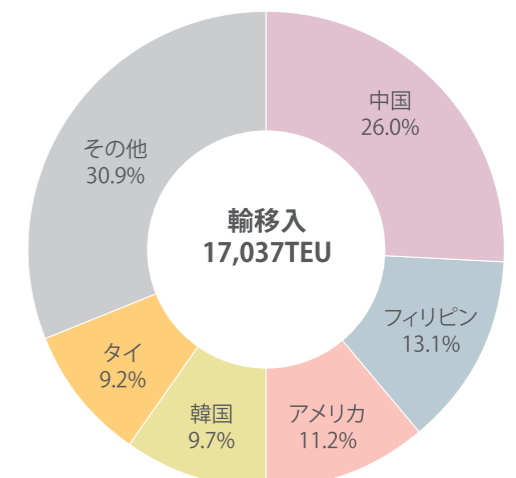
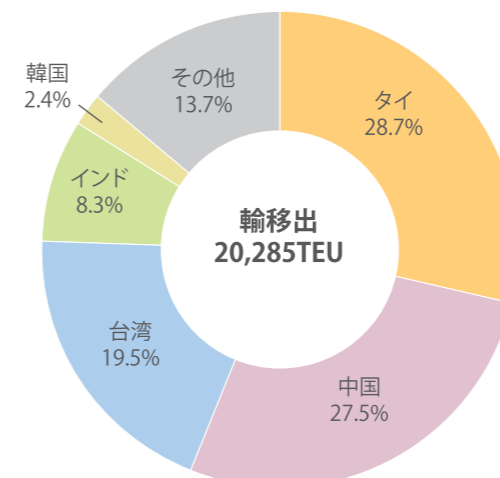
2018年 コンテナ貨物品種別内訳

2018年のコンテナ貨物の品別内訳(コンテナ個数での割合)を見ると、輸移出では紙・パルプの40.0%、輸移入では製材の17.1%が第1位となっております。



2018年 コンテナ貨物国別内訳

国別の内訳を見ると、輸移出はタイが中国を抜いて28.7%で1位、輸移入は、昨年に引き続き、中国が26.0%で1位となりました。輸移出・輸移入ともにアジア各国との取引が半分以上を占めております。



※端数処理の関係で合計は100になりません。

八戸港開港80周年

1. 八戸港誕生

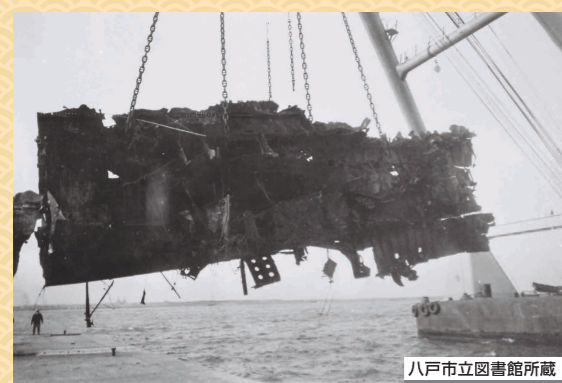
八戸港は、今から約350年前の江戸時代には「鮫浦」と呼ばれ、漁港や三陸沿岸の避難港としての役割を果たしていました。それまでは、東北や北陸の諸港からの物資は西廻りで大阪に運ばれていましたが、東廻り航路の開設により、江戸への物資の輸送に利用されるようになりました。明治になり海運が発展してくると築港運動が盛んになり、大正8年に鮫浦港の修築工事に着工し、八戸でも港湾事業の推進が加速されました。

その後、内務省が重要港湾の指定を増やす動きがあったことから、八戸の町をさらに発展させるには鮫港を商港に昇格させることが重要であり、そのためには村ではなく大きな市になることが有利と判断したことから、鮫・湊・小中野・八戸の4町村が合併協議を重ね、昭和4年5月1日に八戸市が誕生しました。

八戸市が誕生した昭和4年の12月、鮫港は湊川口と統合されて「八戸港」と改称され、翌5年1月には内務省の指定港湾となり、八戸港の修築を継続的に実施できる制度的基盤が完成しました。その後、港湾整備が着々と推進され、昭和14年に貿易港として開港指定、昭和26年には重要港湾に指定され、港湾の整備が進められてきました。



八戸市立図書館所蔵
修築中の八戸港の様子(昭和5年)



八戸市立図書館所蔵
海防艦「稲木」の残骸(昭和20年)

昭和20年7月と8月の2回、八戸市は空襲を受け、工場施設や尻内駅などが爆撃を受けました。さらに、8月9日には八戸港に仮泊していた海防艦「稲木(いなき)」が、米軍グラマン機との3時間に及ぶ激闘の末に沈没し、一週間後の8月15日に人々の生活に大きな爪痕を残した戦争は終結のときを迎えました。

終戦後の昭和22年、食糧増産対策として、岩手県松尾鉱山から産出する化学肥料の原料となる硫黄鉱の積出し港に指定されたことから、早急な波浪対策が必要となり、戦時中に建造された1万トン級の石油タンカー3隻による沈船防波堤が作られたことが、復興への契機となりました。



八戸市立図書館所蔵
新産業都市指定の祝賀会(昭和39年)

2. 新産都市指定と急速な発展

昭和39年の新産業都市指定後は、大型岸壁やフェリー埠頭など、本格的な港湾整備が進められ、臨海部に相次いで製紙業、非鉄金属業等の基礎素材型企業の立地が進み、八戸市は東北屈指の工業地帯へと発展していきました。

物流面においては、昭和48年に苦小牧と、昭和54年に室蘭との間にカーフェリーが就航(八戸-室蘭間は平成18年に休止)しました。また、昭和56年に八太郎3号埠頭に八戸港フェリーターミナルが完成し、現在は苦小牧との間に1日4便が運航する本州と北海道を結ぶ拠点となっています。

平成のあゆみ

3. 東北初の外航コンテナ定期航路開設

平成6年には東北地方で初の国際定期コンテナ航路となる東南アジア航路が開設し、八戸港は国際物流の主流となっていたコンテナ輸送に対応しました。ここから、北東北の国際物流拠点港として歩みを始めることとなり、平成7年には県・市・商工会議所・港湾振興団体・金融機関・港湾運送事業者らが連携して「八戸港国際物流拠点化推進協議会」を設立しました。同協議会は、八戸港の国際物流拠点化と地域経済の振興を目指し、継続的に海外へ交流団を派遣する等のポートセールス活動を展開しています。

平成8年には輸入促進地域(FAZ)の指定及び貿易ビジネス施設「八戸港貿易センター」の開設が行われ、翌9年にはポートアイランド(河原木1号埠頭)が供用開始されました。

その後、平成10年に韓国航路(現:中国・韓国航路)及び北米航路(平成20年に休止)が、平成11年に横浜港、平成18年に東京港、平成20年に名古屋港と八戸港を結ぶ内航フィーダー航路が、平成27年に韓国航路が順次開設されました。

4. 現在と未来

平成23年3月11日の東日本大震災では、八太郎北防波堤を中心に甚大な被害を受け、港内静穏度を確保できなくなるなど物流機能に大きな支障をきたしましたが、平成25年に東北で最も早く復旧事業が完了しました。

その後、平成27年には北東北のエネルギー供給拠点となるLNGターミナルが操業開始、平成28年には世界トップクラスの技術を誇る造船工場が増設、平成29年には今後の需要拡大が見込まれる食用米や飼料用米を中心に扱う大型備蓄倉庫が稼働開始するなど企業の立地も次々と進んでおり、さらに平成30年にはコンテナターミナルが拡張され、年間の取扱能力が従前の約1.3倍となる6万9千TEUまで向上いたしました。



拡張前のコンテナターミナル



拡張後のコンテナターミナル

平成21年には、コンテナ貨物の増加、バルク貨物との混在解消、進出企業への対応等、当面の課題に対応しつつ北東北地域の産業活動を支え、持続的な発展への貢献を目指し「世界に開かれた北東北のゲートウェイ港湾」を実現するため、平成30年代後半を目標年次として、港湾計画が改訂されました。

令和元年には、国内最大規模となるバイオマス発電所が稼働するなど、さらなる八戸港の利用拡大が期待されており、今後も北東北の国際物流拠点港としてさらなる発展を目指します。



八戸LNGターミナル



中国・韓国航路開設20周年記念式典の様子



写真提供:八戸市
東日本大震災の被害の様子